



この光っているのがヒメボタルです
(全長2~3ミリ)

梶谷公園奥の国有林一帯では、数年前にヒメボタルの存在が確認されて関係者一同驚かされました。みなさん、ヒメボタルというホタルをご存じでしょうか？

ゲンジボタル、ヘイケボタルなどホタルにはさまざまな種類がありますが、ヒメボタルは、一般的によく知られているホタルと比べると、その生態や習性、生息地などまだよく分かっていないことが多いホタルです。

その特徴は、まず第一に陸

生のホタルであること。このため、山の奥深くで確認されることが多いです。次にメスのホタルには羽がなく空を飛べないということ、このため雄のホタルは雌を探して地面の低いところを飛んでいます。最後にヒメボタルは体長数ミリの大変小さなホタルですが、



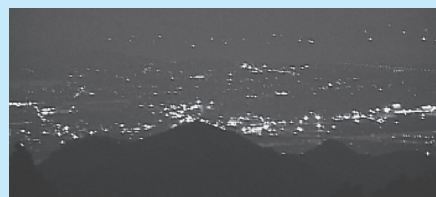
0.5秒間隔で非常に明るいフラッシュ発光をします。

生態が詳しく解明されていないことから生息地によっては絶滅が危惧されているところもあります。みなさんの家のまわりでもこ

んなホタルを見たことはありませんか？鳥取市歴史博物館ではヒメボタルの情報を集めています。身の周りで見かけたりした情報がありましたら、ぜひお寄せください。

そのほか、ホタルに関する遊び、言い伝え、思い出などホタルに関するさまざまな情報も募集しています。ぜひやまびこ館にお越しただいてお話しを聞かせてください。

鳥取市歴史博物館
仮谷直樹



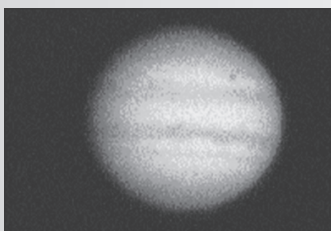
たいこうがなる
太閤ヶ平から見た久松山

■問い合わせ先 やまびこ館 上町88
☎ (0857) 23-2140



神々の王「ジュピター」

夜8時ごろ、ひときわ明るい星が目にとまると思えます。この星は太陽系の惑星「木星」です。木星の英語名は「ジュピター」。平原綾歌さんが歌ってヒットした「ジュピター」とは木星のことなのです。



もっと正確に言えば、ジュピターとはローマ神話の神々の王「ユピテル」(ギリシャ神話でいうゼウス)のこと。昔の人々は惑星そのものを神とみなしました。これら神のイメージをもとに作られたのが、イギリスの作曲家ホルストの組曲「惑星」です。その中の一部「木星」をアレンジして日本語の歌詞をつけたのが、平原綾歌さんの「ジュピター」だったのです。満天の星空で木星を見ると、この星を神々の王とみなした気持ちがよくわかります。

その輝きは、まさに神々(こうごう)しいかぎりです。みなさんもぜひ、満天の星空の下で木星を眺めてみてください。また、望遠鏡で見る木星もなかなか見ごたえがあります。5月~7月中旬ごろまでの星の観察会(夜間観望会)では、103cmの望遠鏡で木星をご覧いただけます。また、5月14日(土)と21日(土)には、木星と月などをご覧いただくイベントも予定しています。

佐治天文台長 香西洋樹こうさいのりきの

「空の向こうに見えるもの」

☆七曜☆ 今日は何曜日?いつもカレンダーや新聞で確かめてから、その日の行動を起こしますね。ところで、この「曜日」というのはいつごろ、誰が決めたのでしょうか。記録によると、日本には「弘法大師・空海」によって唐の国から伝えられたと言われています。私が、以前勤務していた国立天文台には、昔の暦が保管されていて、その暦の月初めの日にはしっかりと曜日が記載されていました。そして、その曜日を現在まで延長してみると、現在の曜日とぴったりと一致するのです。1日の狂いもありません。そして、この曜日は、世界中で共通です。不思議に思いませんか?この曜日の考えは、どうやら昔のインドで始まったと考えられています。そして、日曜日は太陽の日、月曜日は月の日、火曜日は火星の日と続き土曜日は土星の日、というわけです。ところで、土星は英語でサターンで豊かな実りを約束する神、そして悪魔はサタン。これを混同してしまうと大変です。豊かな恵みの神が悪魔になってしまうのです。注意しましょう。

